

令和4年度事業報告

施設名 カーサ マリモ

1 総 括

令和4年度は、7月に長期入院を経ての退所者が1名ありましたが8月には緊急での長期利用者を共同生活援助新規利用者として迎えることができ13床満室となりました。しかしながら2月末にも長期入院を経て退所となったご利用者が1名ありましたが職員体制が整わず受け入れに至りませんでした。

短期入所では、シフト維持に力を注ぐ形となってしまったため、新規短期入所利用者の掘り起こしも困難な状態で新規獲得に至っておらず、継続的なご利用の2件に留まりました。その中で8月、11月、12月は事業所内での新型コロナウイルス感染症の発症により短期入所の利用率も低下してしまいました。

職員体制においては、正規職員4名が移動となり、職員体制を検討し直し非常勤職員、派遣職員を採用し新たな体制作りを進めていますが、思うように雇用が進まない事や職員4名が新型コロナウイルス感染症に罹患し自宅待機となったこと等も重なりシフト維持に力を注ぐ形となってしまいました。その中でもBBQや外出企画、利用者の方々に季節を感じられるような装飾やイベント等を行いました。

2 重点目標の取り組みと来期の課題

1) 地域移行への取り組み強化

【目標】

地域移行への取り組みの基盤を整備し、地域移行支援を行います。

- ・法人内事業所のご利用者の地域移行ニーズの把握を行います。
- ・複数の相談支援事業所や居宅介護事業所等との連携基盤をつくります。
- ・利用者ニーズに応じた地域移行支援を行います。

【取り組み状況と結果】

- ・地域移行ニーズの把握について

9月に法人内事業所の入所施設（特別養護老人ホームを除く）のご利用者の地域移行ニーズを把握しました。結果は男性が11名（くるめ園10名、清瀬療護園1名、カーサマリモ2名）女性が3名（くるめ園2名、清瀬療護園1名）であり、その中で共同生活援助を希望している方は3名でした。

- ・関係事業所との連携基盤づくりについて

未実施となります。

- ・地域移行支援について

7月末にご利用者1名が退所し、地域移行となりました。地域移行に当たっては清瀬療護園障害者相談支援センターと連携を図りながら取り進めました。

【今後の課題】

- ・地域移行ニーズの把握について

新たなご利用者の地域移行ニーズの把握やニーズ変更等の把握が出来るよう引き続き法人内事業所と連携を図っていきます。

- ・ 関係事業所との連携基盤づくりについて

カーサマリモの役割の一つである地域移行への取り組みを推進する必要がありますが、現在地域移行の際に連携を図っている関係事業所が多くないので、令和5年度では近隣市等の関係事業所を巡り広報活動を行います。

- ・ 地域移行支援について

引き続きカーサマリモご利用者の地域移行ニーズに応じて関係機関と連携を図り取り組んでいきます。

2) 安定的な運営基盤の確立

【目標】

共同生活援助は95%、短期入所は70%の年間稼働率を達成します。

- ・ 共同生活援助については、法人内事業所や地域の相談支援事業所と連携を図り、入所希望の把握を行い、退所から新規受入までを1ヶ月以内に行います。
- ・ 短期入所については、清瀬療護園と連携を図ると共に必要に応じてミドル・ロングの受入れを行います。

【取り組み状況と結果】

- ・ 新規受入及び稼働率について

7月と2月に計2名の退所がありました。7月の退所の際には短期入所（ロングステイ）からの入所移行であったため空床期間1か月以内での対応ができましたが、2月の退所の際は職員体制が整っておらず空床期間1カ月での対応ができませんでした。

稼働率実績 共同生活援助定員13床、短期入所定員1床

令和4年度の稼働率は共同生活援助が92.3%、短期入所62.2%となっております。令和3度の稼働率は共同生活援助が90.1%、短期入所が48.8%となっており、前年度対比では稼働率が向上していますが、今年度目標である共同生活援助95%、短期入所70%には若干下回っております。稼働率が下回っている要因として、共同生活援助は昨年12月から6月末までご利用者1名が長期入院後退所となり、更にもう1名のご利用者が昨年10月から2月末まで長期入院後退所となったことが挙げられます。

短期入所は4月から7月末まではロング利用であった方が8月より共同生活援助のご利用者となったことにより、8月からの短期入所の顧客確保が安定しなかったことと、8月11月12月に事業所内で新型コロナウイルス感染症が発症し短期入所事業を閉鎖したことによるものが挙げられます。

現在、短期入所の顧客確保のため法人内事業所や実施機関に短期入所ご利用の広報を行っています。

- ・ 清瀬療護園との連携について

定期的に清瀬療護園短期担当者と双方の短期入所稼働や顧客待機状況等について共有を図っています。4月・5月ではカーサマリモの緊急依頼での短期入所（ミドルステイ）ご利用者の受入を一時的に清瀬療護園で受け入れて貰い、清瀬療護園との連携の下、緊急依頼の短期入

所の受入を行うことで出来ました。

【今後の課題】

・新規受入及び稼働率について

1件は短期入所（ロングステイ）からの入所移行だったのでスムーズに行えましたが、もう1件は受け入れ態勢が整っておらず受け入れが進みませんでした。今後は受け入れ態勢を整備し今後は今回、実施した地域移行アンケートでのニーズや複数の相談支援事業所や居宅介護事業所との連携基盤を構築し、入所希望の整理を行っていきます。

稼働率では、共同生活援助については3月からの空床を早急に解消し稼働率の安定に努めます。

短期入所については現状の顧客が2名のため引き続き広報活動を行い顧客確保の取り組みを行っていきます。稼働率目標を達成するためには関係機関、法人内事業所との連携強化を今以上に図りつつ利用者のニーズの充足を基本としながらも目標達成を図れる利用実績づくりを意識しながら取り組みを行っていきます。

・清瀬療護園との連携について

引き続き清瀬療護園と連携強化を図り、短期入所ご利用者のニーズに応えられる基盤づくりを行い、顧客の確保及び稼働率の達成に取り組んでいきます。

3 申出のあった苦情の対応

申立月	苦情の内容	対応と結果
9月	コールを待たされた	〈対応〉当該職員への聞き取り及び口頭での指導を行った後、ご利用者への謝罪、全職員へ注意喚起を行う。 〈結果〉ご利用者より改善されたとの報告を受ける。

4 発生した事故の内容

種別	件数	摘 要
重大事故	3件	怠薬・誤薬 2件 5月30日 服薬事故（怠薬） 薬カレンダーより薬を取った際、ホッチングが外れ2包の内、1包しか取れていなかったが、薬カレンダーに1包残っていることに気づかず怠薬となってしまう。 2月18日 誤薬事故（点眼）ご利用者より点眼の依頼を受け対応したが確認不足により似た容器の別の薬を誤って点眼してしまいました。 怪我 1件 10月30日 膝立ち歩きの方が自室ソファへ上がる際に誤って転倒し頭部外傷を負ってしまいました。

5 職員体制（令和5年3月31日）

職種	所長	サ ビ 管	介 護 職 員							計
職員数	1	1	14							16
内常勤										
常勤換算	1		9.05							10.05

6 研修の実施状況

1) 施設内研修

研修名・テーマ	講師	参加職種	開催時期	延人員
虐待防止研修会	所長	全職種	5/10、5/12	5人
マネジメント研修会	所長	リーダー	5/30	3人
虐待防止研修会	リーダー	全職種	6/8、6/13	4人
事例検討会（接遇）	所長	全職種	6/5、6/12	4人
リフト研修会	リフトインストラクター	全職種	6/15	3人
リフト研修会	リフトインストラクター	全職種	9/5、9/30	2人
虐待防止研修会	リーダー	全職種	9/13	1人
虐待防止研修会	リーダー	全職種	1/17	1人
虐待防止研修会	リーダー	全職種	2/1、2/5、2/12 2/16、2/18 2/21、2/22 2/26、2/27	9人

2) 施設外研修

研修名・テーマ	主催	参加職種	開催時期	延人員
グループホーム従事者基礎研修	東京都	全職種	9月	3人
サービス管理責任者基礎研修	東京都	リーダー	11月	1人
グループホーム従事者基礎研修	東京都	全職種	11月	2人

7 サービス単位ごとの年間利用者延べ総数

区分	利用者延べ数
共同生活援助	4,380
短期入所	227

8 行事の実施状況

実施月日	行事名	参加者			
		利用者	職員	その他	計
4月2日	寿司バイキング	13人	8人	1人	22人
5月10日	BBQ	8人	7人	1人	16人
5月24日	外出企画	3人	2人		5人
9月24日	BBQ	13人	5人		18人